

## 『音楽表現学』投稿チェックリスト

該当する□に✓を入れ、署名をしてください。

- 投稿者および共同執筆者は、日本音楽表現学会の正会員であり、本年度の年会費を納入済みである。
- 使用言語は日本語または英語である。
- 原稿の種別は、投稿規程に則している。
- 本年度における投稿は、共同執筆を含め原稿1本のみである。
- 原稿の内容はオリジナル（自身の研究および先行研究に照らして独自性を有するもの）である。
- 原稿の内容は未公開である。すなわち著書、学会誌、大学紀要などに掲載されておらず、過去の業績の組み替えなどではない。
- 原稿の内容は、他学会等の機関誌や研究機関の紀要等に投稿中もしくは審査中のものではない。
- 原稿の内容は、著作権の帰属に関する問題に触れていない。
- 原稿の形式は、A4版縦置き、横書きとし、日本語の場合は所定のテンプレートに則している。英文の場合は1ページあたり概ね900語を目安としている。
- 原稿の分量は図表等も含めて投稿規程（原著論文、評論論文:20ページ以内、研究報告:10ページ以内）に即している。
- 原著論文、評論論文、研究報告の冒頭には、タイトル、および3-5個のキーワードを記入している。
- 原著論文、評論論文、研究報告には、日本語の場合は400字以内の要旨を、英語の場合は200語程度の英文要旨と末尾に400字以内の日本語要旨を記している。
- 英文での投稿については、事前に当該分野のネイティブによるチェックを受けている。
- 所定の投稿申込書に必要事項を記入している。
- 譜例、図および表にはすべて番号とタイトルがついている。
- 楽譜の全曲引用または自身の新作の全曲掲載はしていない。
- 文献からの文言引用は、原文通りであり、その出典を明示している。
- 注および引用文献は、論文の最後に一括して記している。
- 書誌情報には、著者、(論文名)、書名、出版社、出版年、引用ページを含めている。
- 提出においては、以下のものがすべて同封されている。  
①投稿申込書    ②原稿のコピー9部    ③要旨    ④譜例や図等の原版    ⑤投稿チェックリスト(本紙)
- 前記とは別に、原稿と投稿申込書をメールに添付して日本音楽表現学会事務局宛に送付する。
- 

\_\_\_\_年\_\_月\_\_日 氏名(自署) \_\_\_\_\_